

題名

平和の尊さ

南押原 中学校 (氏名) 宇梶 さくら



原爆投下から74年が経過した広島を訪れ、当時の悲惨な状況を目の当たりにして、平和の尊さを学ぶことができた。資料館では、目を背けたくなるような残酷なものが多く展示されていた。中でも核兵器から出た放射能によって苦しんだ人々の資料は今でも強く頭に残っている。顔に黒い斑点が出たり、髪が抜けてしまったり。今ではありえない光景に胸が苦しかった。又、被爆者からは原爆による熱線に苦しんだ人が多かったと聞いた。当時の状況を見聞きして、戦争は絶対にしてはいけない、8月6日の過去を二度と繰り返してはならないと強く思う。今回学んだ平和の尊さを私たちが語り継ぎ、核のない平和な世界の実現に向けて、自分には何が出来るのかもう一度考えていきたい。